

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和6年 4月18日 (木)

2 調査対象 第6学年児童48名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語、算数)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 児童質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回りました。
算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 国語・英語が好きである。
- 英語の授業の内容はよく分かる。
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。

課題が見られた項目

- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度活用したか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では発信力と思考力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 授業に対話を多く取り入れ、児童同士、児童と教師の双方向の授業展開で児童の発信力を高める。
- ・ ICT機器を授業に取り入れ、より一層「わかる・できる」授業を学校全体として組織的に取り組む。

6 保護者の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 家庭学習について
 - ・ 家庭学習時間の確保、家庭学習カードのチェックを行う。
- ICTの学習への活用
 - ・ 家庭への持ち帰りも行い、AI機能を活用したドリルとして活用する。
- 地域行事等への参加
 - ・ 多くの人とのふれあう機会を積極的につくる。